

香川の
土地改良



発行所

香川県土地改良事業団体連合会
高松市番町五丁目1番29号

TEL (087) 832-7140

FAX (087) 832-7150

<http://www.midorinet-kagawa.or.jp/>



秋祭り（観音寺市大野原町萩原）

目次

1. 第41回全国土地改良大会宮城大会開催2~3
2. 農業農村整備事業等に関する説明会開催4
3. 平成30年度換地計画実務研修会開催5
4. 水土里ネット広報女性部会・広報会議意見交換会開催5
5. 「大野原開拓物語り」第五回6
6. 土地改良区だより 観音寺市木之郷町土地改良区7
7. 会と催し8

第41回全国土地改良大会宮城大会開催

「先人の意志を受け継ぐ「伊達の地」に水土里の絆 復興の歩み」

10月16日、宮城県宮城郡利府町の「宮城県総合運動公園(グランディ 21)」において、第41回全国土地改良大会宮城大会が開催された。この大会は、農業農村整備に携わる全国の関係者が一堂に会し、新たな農業の展開方向に即して、改めて農業農村整備の使命を再認識し、関係者の総力を挙げて我が国の農業・農村をさらに発展させることを目的に開催されている。

今年、宮城県において「先人の意志を受け継ぐ「伊達の地」に水土里の絆 復興の歩み」をメインテーマに開催され、全国各地から土地改良関係者約6,000名が参加した。

式典は、開催地である伊藤康志宮城県土地改良事業団体連合会会長の挨拶で始まり、主催者を代表して二階俊博全国土地改良事業団体連合会会長から挨拶。続いて、村井嘉浩宮城県知事から歓迎の挨拶、さらに、小里泰弘農林水産副大臣及び小野寺五典衆議院議員並びに都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問の進藤金日子参議院議員から祝辞が述べられた。

その後、土地改良事業功績者表彰が行われ、農林水産大臣表彰6名、農林水産省農村振興局長表彰16名、全国土地改良事業団体連合会会長表彰46名が表彰された。本県からは、山地孝士本会常務理事が農林水産省農村振興局長表彰、また、本会監事である藤澤武高松市多肥土地改良区理事長が全国土地改良事業団体連合会会長表彰を受賞された。



伊藤康志宮城県土地改良事業団体連合会会長



二階俊博全国土地改良事業団体連合会会長

続いて、室本隆司農林水産省農村振興局長より「未来を築く土地改良」と題し、基調講演が行われた。その後、宮崎雅夫都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問がコーディネーターを務め「東日本大震災における創造的復興への軌跡」をテーマにパネラーである仙台東土地改良区ほか3団体より報告があった。

宮城県の優良事例紹介では、美里東部土地改良区(美里町)から「青生地区の農業農村整備～高収益作物生産への挑戦～」、北上川沿岸土地改良区(石巻市)から「大川地区の復旧・復興の取組～壊滅的被害からの再生～」と題しそれぞれの取り組みに関する紹介があった。

引き続き、宮城県農業高等学校の生徒より、「先人の意志を受け継ぐ「伊達の地」に水土里の絆 復興の歩み」を合い言葉に、高らかに大会宣言された。最後に次期開催県である岐阜県に大会旗が引き継がれ、水野光二岐阜県土地改良事業団体連合会副会長から挨拶があり、大会は盛会裏に閉会した。



農林水産省農村振興局長表彰
山地孝士本会常務理事



全国土地改良事業団体連合会会長
表彰
藤澤武高松市多肥土地改良区
理事長(本会監事)



祝辞を述べる小里泰弘農林水産副大臣



祝辞を述べる進藤金日子参議院議員



基調報告 宮崎会長会議顧問他4団体



大会宣言

農業農村整備事業等に関する説明会開催

10月18日、ホテルパールガーデンにおいて、香川県主催、農林水産省による「農業農村整備事業等に関する説明会」が行われた。この説明会は2部構成で行われ、第1部は農業農村整備における平成31年度当初予算概算要求の概要をはじめ新規・拡充事業等、また、農業農村整備事業の効果と事例についての説明、第2部は平成30年6月8日に公布、平成31年4月1日から施行される土地改良法の一部改正内容の説明、周知を行った。国、県、市町、土地改良区等約130余名が出席された。

会に先立ち、影山義人農林水産省農村振興局整備部設計課調査官より「予算要求には農業の競争力強化と国土強靱化の2つの大きな柱がある。香川県においては、特にため池についての対策を大きく来年度予算として考えている」と挨拶された。また、主催者として、国分伸二香川県農政水産部部長より挨拶の後、田井真和農林水産省農村振興局整備部防災課課長補佐から平成31年の当初予算概算要求の概要について、「農林水産省予算のうち、農村振興局関係予算における公共事業費の農業農村整備は、対前年度比122.0%の3,917億円となっており、これに農山漁村地域整備交付金（農業農村整備分）と農地耕作条件改善事業（非公共）を合わせた農業農村整備事業関係予算は、

対前年度比122.0%の5,305億円と大幅な増額要求となっている。また、農業競争力強化のための農地の大区画化・汎用化、新たな農業水利システムの構築、国土強靱化のための農業水利施設の長寿命化・耐震化対策、ため池の管理体制の強化等の拡充を図る」と説明があった。

引き続き、第2部として西村雅裕農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐より改正土地改良法に関する説明がなされた。「土地改良区の組合員資格及び体制の改善に関する措置」の改正内容に加え、「法律の施行に伴う関係政令の整備に関する政令案の概要並びに運用」について具体的に説明があった。



挨拶される影山設計課調査官(中央)並びに説明された田井防災課課長補佐(右)



西村土地改良企画課課長補佐からの説明



説明会の模様



主催者側 国分香川県農政水産部部長の挨拶

平成 30 年度換地計画実務研修会開催



主催者挨拶



研修会の様子

10 月 25 日、香川用水記念会館 1 階多目的室において、土地改良区体制強化事業の受益農地管理強化対策の一環として、平成 30 年度換地計画実務研修会を開催した。この研修会は、換地技術の強化をはじめ、換地事務の円滑な推進や換地業務等に関する知識の向上を目的に開催している。

相続、登記、換地理論、土地改良法の概要等 4 科目の研修が行われ、土地改良区の職員や新規地区推進委員など 63 名が受講した。多くの質疑応答がなされ、有意義な研修会となった。

研 修 科 目	講 師
相続と登記	高松法務局民事行政部不動産登記部門 統括登記官 椎野 秀利
換地理論	中国四国農政局農村振興部土地改良管理課 農地集団化推進官 溝口 祐子
土地改良法の概要について	香川県農政水産部土地改良課 用地・管理グループ 副主幹 坂東 正明
換地の流れ	香川県土地改良事業団体連合会

水土里ネット広報女性部会・広報会議意見交換会開催

10 月 25、26 日の 2 日間、鳥取県土地改良事業団体連合会において、水土里ネット広報女性部会・広報会議意見交換会が開催された。

同部会は、水土里ネットの業務に携わる女性の活躍を広報するとともに、女性のスキル向上・活躍の場を広げることにより、女性が土地改良事業推進の中核を担える環境づくりを進めることなどを目的に発足されたものである。

今回開催地の鳥取県は、平成 29 年 7 月 20 日に「とっとり水土里の女性会」を設立、会員 36 名で活動している。近年、担い手育成、農地利用集積の促進等競争力のある新たな農業への機運が高まってきている反面、希薄になっている農業水路や農地への関心に危惧し、当会は女性の視点や行動力を活かした広報・施策の提案・反映を目指し立ち上げている。

同部会では、「とっとり水土里の女性会」の活動報告の後、「女性部会の重要性(必要性)の周知、今後の活動方針等」と題し、参加者による活発な意見交換が行われた。また、特定農業用管水路等特別対策事業を実施している「福部土地改良区」への現地視察も行われ、畑地かんがい用パイプラインの老朽化に伴う管路の更新整備について説明を受けた。今後一層、当部会を通じ情報交換等を推進・共有し、女性の活躍の場を広げていくことを再確認した。



部会の様子

大野原開拓物語り

おおのほら

かいたくものがたり

第五回 井関池を襲った大洪水

「四国作家」同人 平井 忠志

井関池の築造を締めくくる、最後の行事の日がやってきました。まだ明け六つには間があるというのに、東西の堤の上には胴巻きに赤ふんどし一丁の屈強な男が群がって、半ば興奮しながら四股を踏んでいます。

備中屋籐左衛門は、この日のために小銭を大阪から船に積んで、観音寺の浜に着け荷車で井関池の現場に運んでおきました。

小山の指揮所の籐左衛門が、右手に持った紅白の采配をさっと揚げると、合図の太鼓が高らかに打ち鳴らされました。わーっという喚声が一斉に兩岸の山にこだまして、人夫たちが土俵に飛びつきます。

土俵は次々に川の流れて投げ込まれ、流れをせき止めます。籐左衛門は運搬の通り道に関所を設け、いかきに小銭を山盛りにおきました。土俵をかついで走り込んでくる人夫の胴巻きに、一文銭を掴んで押し込んでやりました。十五文あれば蕎麦が一杯食える時代ですから、人夫の目の色が変わろうというものです。

「わーっ、銭の掴み取りや」

勇ましく打ち鳴らされる太鼓に急き立てられ、荒くれ人夫たちは駆けに駆けました。日が傾き始めたころには、すべての工事が終わっていました。

一方、三島屋又左衛門が進めた開墾も、この一年の間に水田三十町歩、畑百二十町歩を開きました。備中屋籐左衛門やほかの仲間たちにも、一人一町歩の水田が配分され、五月の末には満々と水を湛えた井関池の水で稲の植え付けも終えました。

この年、秋口になってじびじびと長雨が続きました。籐左衛門は井関池の堤防を、毎日見回っていました。

「悪条件が揃ったわい。堤が膿まねばよいが」

余水吐けからは轟々と音を立てて、洪水が流れて、雨脚が急に強くなってきました。余水吐けの水量が増え始め、躍った水が堤防の裏を洗い始めました。籐左衛門は使いを走らせ、開拓詰所に急を知らせ、村の半鐘が狂ったように鳴り始めました。

それから半刻（一時間）も経たないうちに、どどどーっと鈍い響きと共に堤の背面が地すべりを起こした。その迂りあとからどくどくと水が噴き、堤は波に洗われる砂山のように、崩れていきました。



井関池改修工事記念碑

～土地改良区だより～

観音寺市木之郷町土地改良区は、昭和 31 年 5 月 30 日に設立認可を得て設立された。観音寺市の南部に位置し、東側に県道栗井観音寺線、西側に 2 級河川柞田川で仕切られている。当地区は川西（百々）、川東（木之郷）にまたがっており、昭和 30 年町村合併で木之郷地区は観音寺市に、紀伊地区は大野原町に分村合併をしている。気象は瀬戸内式気候に属しており、温暖寡雨である。用水はため池を主にして香川用水の利用をしており、排水においては地区内の水路を通じて柞田川へ自然排水をしている。また、高齢化、担い手不足が進んでいるが、当地区の営農は取水の施設をパイプライン化することで、野菜（レタス、キュウリ等）、稲作の作付けが便利になり高齢農業者に喜ばれている。

現在では利便性に富み、豊かな田畑が広がる当地区もその昔、塗炭の苦しみを味わっている。太平洋戦争の暗雲漂う昭和 18 年から、軍は本土から航空機を発進するための飛行場を建設しはじめた。当地区は「観音寺海軍航空隊観音寺飛行場」として白羽の矢が立ち、住民は強制立ち退き移転の命に従い、民家三戸と約 60ha の農地が強制収用された。住み慣れた土地を離れ、四散していく悲運にあった住民の衝撃と苦悩は計り知れない。終戦後は飛行場として使用されることもなく全敷地は民間に払い下げられ農耕地として返された。昭和 21 年、開拓組合を結成し、開拓復旧事業の土地の再配分の際、一町歩だけ元農地所有者への配分を余し、これを相互扶助の精神で「二畝づくり」として外地からの多数の引き揚げ者に配分し、野菜や作物を作り食糧難を凌いだという。このことは戦のために人心の荒れすさんだ中、一服の清涼剤であったことは言うまでもない。その後、百々地区では昭和 47 年～52 年にかけて大野原町は場整備事業で約 20a 毎、平成元年には横断道関連事業で約 30a 毎に区画整備が実施されている。

また、当改良区においては、近年の厳しい農業情勢の中で管理運営経費の軽減を計るため、土地改良区の市一本化を展望し、事務統合を行い観音寺市土地改良協議会で事務を進めている。先人たちの辛酸と労苦、平和というものの尊さを忘れず、引き継いだ財産を確実に後世に受け継いでいくため、これからも請川理事長をはじめ役員一丸となり、更なる発展に努めていく。

観音寺市木之郷町土地改良区



木之郷地区全景



双子池



請川 裕恭 理事長

土地改良区の概要

所在地 観音寺市坂本町一丁目 1 番 1 号

受益面積：67ha（田 67ha）

組合員：178 名

理事：10 名 監事：2 名



位置図

会と催し

開催月日	会の名称	開催場所
10月3日	香川県農業会議 法人・団体会員会議	高松市
10月3日	JARUS型施設適合審査業務打合せ	東京都
10月4日	綾川流域水環境保全推進協議会総会	綾川町
10月16日 ～17日	第41回全国土地改良大会宮城大会	宮城県
10月18日	農業農村整備事業等に関する説明会	高松市
10月18日	改正土地改良法に関する説明会	高松市
10月25日	換地計画実務研修会	高松市
10月25日 ～26日	水土里ネット広報女性部会・広報会議意見交換会	鳥取県

